

報 雜

◎人 事

岡山醫科大學助教授 濱 崎 幸 雄
從五位勳六等
任岡山醫科大學臨時附屬醫學專門部教授兼岡山醫
科大學助教授
敘高等官三等

金 津 晴 亮
任岡山醫科大學臨時附屬醫學專門部教授兼岡山醫
科大學助教授
敘高等官七等

岡山醫科大學助教授 山 崎 三 省
依願免本官

岡山醫科大學臨時附屬醫學專門部教授 濱 崎 幸 雄
四級俸下賜

岡山醫科大學臨時附屬醫學專門部教授 金 津 晴 亮
七級俸下賜

(五月三十一日)

從七位 難 波 驥 逸

敘正七位

(三月十五日)

九州帝國大學教授 庄 司 義 治
正五位勳四等
任東京帝國大學教授
敘高等官二等

岡山醫科大學教授 田 部 浩
岡山醫科大學教授 鈴 木 稔
陸敘高等官一等

(六月一日)

玉 川 忠 太
任岡山醫科大學助教授
敘高等官六等

岡山醫科大學助教授 玉 川 忠 太
本俸十二俸級下賜
職務俸金五百四拾圓下賜

(六月八日)

正五位勳四等 遠 藤 中 節

敘勳三等授瑞寶章

(六月十日)

上 村 良 一

敘從七位

(四月一日)

赤 岩 八 郎

敘從三位

中 井 良 平

敘正六位

淺 越 嘉 威

敘正七位

(四月十五日)

南洋廳醫院醫員兼
南洋廳技手正八位

鮫 島 宗 雄

任南洋廳醫院醫官

敘高等官七等

(六月二十七日)

○三原勝三郎君 前號本欄に於て島根縣今市町に
閉業せられたる旨を報じたるも右は誤りにして同
君は目下○支の戦線に活躍中なる趣に付訂正す

○淺沼清志君 同仁會天津防疫處員として7月
6日赴任

○原 廣三君 豫て岡山醫科大學稻田内科に勤
務中の處神戸市川崎病院内科醫員として赴任せら
る

○奥田浩三君 豫て岡山醫科大學石山外科に勤
務中の處助手に任ぜられ三朝温泉療養所勤務を命
ぜらる

○兄部義造君 須磨浦療病院に勤務せらる

○杉山俊之君 豫て岡山醫科大學石山外科に勤
務中の處今島根縣美濃郡吉田町益田共存病院醫
員として赴任せらる

○森 正久君 豫て岡山醫科大學北山内科に勤務中の處今般岡山日赤支部病院内科醫員に勤務せらる

○倉 重 晋君 豫て岡山醫科大學北山内科に勤務中の處今回鳥取縣日野郡根雨町立病院に勤務せらる

○森 下 亮 善君 吉備郡總社町に於て開業せらる

○大見良秀君 愛知縣幡豆郡平坂町に於て開業せらる

○安岡英之助君 豫て岡山醫科大學産婦人科に勤務中の處高知市農人町に於て開業せらる

~~~~~  
◎學位授與

平本憲雄、佐藤信也、藤井久吉の3君は豫て岡山醫科大學に論文を提出して學位を請求中の處6月20日附醫學博士の學位を授與せられたり其の主論文次の如し

平 本 憲 雄 君

胎兒組織=於ケル濱崎氏耐酸性顆粒(Ketoenol 顆粒)ノ研究

佐 藤 信 也 君

聽覺ノ共鳴說=關スル實驗的研究

藤 井 久 吉 君

人子宮内膜腺ノ形態學的研究

高橋勳、松本茂人、大見良秀、金在興の4君は豫て岡山醫科大學に論文を提出して學位を請求中の處7月3日附醫學博士の學位を授與せられたり其の主論文次の如し

高 橋 勳 君

血球過敏症=就テノ實驗的研究

松 本 茂 人 君

肺臟及ビ心臟血管=及ボス「アセチールヒヨリン」及ビ「アドレナリン」作用=就テ

大 見 良 秀 君

體溫調節中樞破壊乃至遮斷時ノ瓦斯新陳代謝

金 在 興 君

生體內=於ケル「デゾオキシヒヨール」酸ノ生成=就テ